

(別記様式2)

## 公の施設のあり方検討結果個表

施設の名称	県立森林公園 21世紀の森		
所在地	沼田市、川場村		
所管部局・課	環境森林部森林保全課	現在の運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者
担当係	県営林係	内線	3273

### 1 施設の設置根拠(法律、条例等)

群馬県立森林公園の設置及び管理に関する条例

### 2 施設の役割

#### (1) 設置目的

森林が持つ優れた自然環境を保全するとともに、県民の保健休養及び森林学習の場として広く利用に供する

#### (2) 設置当初の状況

21世紀に向け、人と森林との共生、水源を育むぐんまの森林との関わりを育む拠点として、県民の誰もが気軽に訪れる憩いの場として、また、緑化意識の啓発を促す森林公園として設置された。平成10年5月には第49回全国植樹祭の会場として、また平成22年10月には第34回全国育樹祭の会場となった。

#### (3) 施設を取り巻く現状

全国育樹祭後、森の広場ステージ横で管理していた「お手植えの木」等については、将来にわたり安定的に撫育するため、生育条件の良い「記念樹の森」エリアに移設した。また、設置から23年を経て管理棟や電気・水道設備等の老朽化が進んでいることから、改修が必要である。

### 3 施設の概要

設置年月日	平成10年10月11日
敷地面積(所有者)	252ha 群馬県
主な施設(床面積、階数等)	管理棟(107㎡、木造平屋)、展示棟(86㎡、木造平屋)、休憩・避難棟(92㎡、木造平屋)、展望塔、四阿、トイレ、遊歩道
建設費	1,030,308 千円
備考	休憩・避難棟設置(H23)

※1 施設数の区分が多い場合は、別紙も可

※2 備考欄には、過去の大規模改修等の状況を記入

#### ◇入園料・利用料等 (円)

#### ◇利用時間(休館日)

区分	金額	
一般	無料	●開園日:4月1日~11月30日 (冬期閉園:12月1日から3月31日までは積雪期のため利用承認となっている) ●開園時間:午前9時から午後4時半(開門時間)
大学生・高校生	無料	

※ 入園料・利用料等の区分が多い場合は、別紙も可

### 4 施設における実施事業

#### 特色のある公園利用

・各種森林ボランティア、緑の雇用研修の受け入れ。

#### 自主事業:

・ドッグランを設置

※ 指定管理者が自主事業を行っている場合は、区分して記入

5 管理運営コストの状況

区 分	令和4年度(当初予算額)	令和3年度(決算額)	令和2年度(決算額)	令和元年度(決算額)	平成30年度(決算額)
歳入(①)	16	19	16	16	16
使用料	0	0	0	0	0
雑入(土地貸付)	16	19	16	16	16
雑入(電気料)	0	0	0	0	0
歳出(②)	19,226	14,351	21,002	22,832	17,472
指定管理料	12,096	12,096	12,096	12,096	12,096
修繕費	5,117	242	6,291	9,075	3,745
工事費	2,013	2,013	1,705	1,659	1,631
その他(備品等)	0	0	910	2	
歳入・歳出の差額(①-②)	-19,210	-14,332	-20,986	-22,816	-17,456
歳入・歳出の主な増減理由					

※1 施設の管理運営に係る県の歳入・歳出を記入(総務調整費等からの支出も含める。指定管理者の収支ではない。)

※2 人件費は、常勤職員と非常勤職員を区分して記入

※3 歳入・歳出科目は適宜加除修正すること

※指定管理制度導入施設は、次の項目を追加して記入

◇指定管理者の収支状況(指定管理業務に係る部分のみ)

(千円)

区 分	令和4年度(当初計画額)	令和3年度(決算額)	令和2年度(決算額)	令和元年度(決算額)	平成30年度(決算額)
収入(①)	12,096	12,096	12,096	12,096	12,096
指定管理費	12,096	12,096	12,096	12,096	12,096
支出(②)	12,096	11,479	11,400	12,042	11,474
人件費	7,250	8,263	7,918	8,441	7,187
光熱水費	1,400	1,401	1,350	1,398	1,440
租税公課費	0	0	0	0	0
委託費(除雪、施設点検)	2,430	1,495	1,496	1,404	1,096
その他需用費、通信料	1,016	320	636	799	1,751
収支(①-②)	0	617	696	54	622
歳入・歳出の差額、収支の主な増減理由					

※1 指定管理者の指定管理業務に係る収支を記入(指定管理者団体全体の収支ではない。)

※2 収入・支出科目は適宜加除修正すること

## 6 職員の状況(各年度4月1日現在)

(人)

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
常勤職員	1	1	1	1	1
非常勤職員	2	2	2	2	3
合 計	3	3	3	3	4

※ 指定管理者導入施設については、主に指定管理業務に従事する職員数を記入(主に自主事業業務に従事している職員、一部指定管理業務に従事しているが大部分を他の会社(団体)業務等に従事している場合は記入しない。)

## 7 施設利用の状況

区 分	令和4年度※1	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
年間利用者総数(人)	17,239	35,303	39,017	49,697	53,696
有料利用者数(人)					
無料利用者数(人)	17,239	35,303	39,017	49,697	53,696
目標利用者数(人)※2	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
施設稼働率(%)※3					
稼働率対象施設(設備)					
利用者の主な増減理由	定期的な団体利用はほぼ一定であり、散策などによる利用者は天候によって変化する。				

※1 見込数又は途中実績を記入

※2 目標利用者数を設定していない場合は無記入

※3 施設稼働率の概念が当てはまらない施設は無記入

## 8 必要性及び管理運営方法についての方向性

区 分	内 容
施設の必要性	「21世紀の森」は平成10年開催の「第49回全国植樹祭」を契機に開園した森林公園であり、人と森林との共生を基本理念に掲げ、県民参加型の森林づくりに寄与できる森林公園として整備した。平成22年開催の「第34回全国育樹祭」を経て、お手植えの木は「記念樹の森」エリアへ定植されており、毎年、森林ボランティア活動による園内整備が積極的に行われている。各種研修や野外教育活動等でも活用されており、利根沼田地域の重要な県有施設であることから、存続が必要である。
指定管理者制度	指定管理者により円滑に施設が運営されていることから、引き続き指定管理者制度により施設を運営する方向で検討したい。

業務等の見直し

公園設置当初は様々な整備計画があったが、実施の段階で見直されたものもあり、老朽化した電気設備等の更新にあたっては、容量等検討する必要がある。